

予 算 要 求 資 料

令和8年度当初予算

支出科目 款：衛生費 項：保健予防費 目：成人病予防費

事業名 がん検診促進事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部 保健医療課 がん・受動喫煙対策係 電話番号：058-272-1111(内3321)

E-mail : c11223@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 3,251 千円 (前年度予算額) 4,440 千円

<財源内訳>

区分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使 用 料 手数料	財 産 収 入	寄 附 金	そ の 他	県 債	一 般 源
前年度	4,440	0	0	0	0	0	0	0	4,440
要求額	3,251	0	0	0	0	0	0	0	3,251
決定額									

2 要求内容

(1) 要求の趣旨（現状と課題）

第4次岐阜県がん対策推進計画では、がんの早期発見・早期治療につなげるため、がん検診受診率の向上に努めることを課題の一つに掲げている。

令和4年の国民生活基礎調査によると、当県のがん検診受診率は、目標の60%を下回っている。

そこで、受診率が減少傾向にある子宮頸がん検診の自己負担相当額を市町村へ補助することにより受診のきっかけを作り、子宮頸がん検診受診率の回復、向上を目指す。

(2) 事業内容

市町村のがん検診の受診率向上を図るため、受診率が低く罹患率が大幅に上昇する25歳を対象として、子宮頸がん検診の自己負担額を無料化した市町村へ自己負担相当額の補助を実施する。

- 補助対象者：県内全市町村
- 補助対象経費：市町村における対象事業実施にかかる費用
- 基準額：子宮頸がん検診 1件×2,000円 (10/10)

(3) 県負担・補助率の考え方

補助率：県1/2、市町村1/2

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	3,251	市町村事業への補助
合計	3,251	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

第4次岐阜県がん対策推進計画（令和6年度～令和11年度）

(2) 国・他県の状況

○国の状況

国の第4期がん対策推進基本計画（令和5年度～令和10年度）におけるがん検診受診率の目標が50%から60%に引き上げられた。

(3) 後年度の財政負担

国の20歳を対象とした子宮頸がん検診の自己負担額無料化制度に続き、25歳で再度検診を受けるきっかけを作り、20代の受診率向上とその後の定期的な受診による受診率の向上を目指すため継続が必要である。

(4) 事業主体及びその妥当性

岐阜県が実施する。当事業は、市町村への財政補助を行うことによってがん検診受診率向上に向けた市町村の体制づくりを促すことがあるため、妥当である。

県単独補助金事業評価調書

<input type="checkbox"/> 新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/> 継続要求事業

(事業内容)

補助事業名	がん検診促進事業費補助金
補助事業者（団体）	市町村 (理由) がん検診の実施主体であるため
補助事業の概要	(目的) 補助対象事業を行う市町村への補助により、受診率の向上を目指す。 (内容) 25歳を対象として子宮頸がん検診の自己負担額を無料化した市町村へ子宮頸がん検診の自己負担相当額の費用を補助する。
補助率・補助単価等	定率 (内容) 事業の実施に係る費用 (補助率1/2、10/10) (理由) 子宮頸がん検診受診のきっかけ作りのため
補助効果	20歳代の子宮がん検診受診率の向上を目指す。
終期の設定	終期令和11年度 (理由) 第4次岐阜県がん対策推進計画（令和6年度～令和11年度）

(事業目標)

- ・終期までに何をどのような状態にしたいのか
子宮頸がん検診の自己負担相当額を補助することでがん検診受診率の向上を図る。

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (R5)	R6年度 実績	R7年度 目標	R8年度 目標	終期目標 (R11)	達成率
①市町村5大がん検診受診率 (地域保健・健康増進事業報告)	胃 7.0 肺 6.0 大腸 7.2 子宮頸 15.4 乳 18.8 (R3年度値)	胃 7.1 肺 5.7 大腸 6.5 子宮頸 16.1 乳 18.9 (R5年度値)	-	-	胃 10.2 肺 8.4 大腸 9.5 子宮頸 17.9 乳 21.1 (R11年度値)	-

補助金交付実績 (単位:千円)	R4年度	R5年度	R6年度
			1,287

(これまでの取組内容と成果)

令和 4 年 度	指標① 目標：_____ 実績：_____ 達成率：_____ %
令和 5 年 度	指標① 目標：_____ 実績：_____ 達成率：_____ %
令和 6 年 度	<ul style="list-style-type: none"> ・実施市町村 30市町村 ・25歳を対象として子宮頸がん検診の自己負担額を無料化した市町村に自己負担相当額を補助することで、実施市町村の25歳の受診率が上昇（平均2.7%上昇）し、若い世代に対する受診のきっかけをつくることができた。 指標① 目標：_____ 実績：_____ 達成率：_____ %

(事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない	
(評価) 2	岐阜県における5大がん（胃・肺・乳・子宮・大腸）死亡率のうち、子宮がんの死亡率は全国より高い。また特に20代の子宮頸がん検診受診率は低く、罹患率は25歳から上昇していることから、若い世代に対する受診のきっかけづくりは必要である。
・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり（単年度目標100%達成かつ他に特筆できる要素あり） 2：期待どおりの成果あり（単年度目標100%達成） 1：期待どおりの成果が得られていない（単年度目標50～100%） 0：ほとんど成果が得られていない（単年度目標50%未満）	
(評価) 2	がん死亡率を減少させるには、がん検診受診率を向上させ、早期発見・早期治療につなげることが有効である。実施市町村での25歳の受診率が上昇したことから有効であると言える。
・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている	
(評価) 1	当事業を活用することで、がん検診の実施主体である市町村に対し、助成制度の周知や受診しやすい環境づくり等のがん検診受診率向上のための取組みを促している。

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項 科学的根拠に基づくがん検診が実施されるよう働きかけていく必要がある。

(次年度の方向性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 子宮頸がん検診の自己負担相当額を補助することで、がん検診受診を促していく。
